

平成 29 年度作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部

入学式 式辞

春風が心地よく感じ、桜のつぼみが芽吹くこの日に、作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部に入学された新入生のみなさん、おめでとうございます。

また、本日の入学式を挙げるに当たり、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様、ならびにご家族の皆様には、心より感謝申し上げます。とくに、これまでいつくしみ育ててこられたご家族の皆様のお慶びはいかばかりかと拝察いたします。

さて、新入生のみなさんは、この清原のキャンパスから、大学生として第一歩を踏み出すことになるわけです。そして、これからは周囲から「大学生」と呼ばれることになります。まず何よりも、大学生としての自覚と責任をもって学び、行動していただきたいと考えています。

大学という場は、言うまでもなく学校教育上高等教育機関であり、みなさんが近い将来、社会の扉を開いていく一歩手前において、幅広い教養と高度な専門的知識を修得し、心身共に自らの素地を耕していく準備の場です。

みなさんが近い将来扉をひらいていくその社会は、今日の世界情勢や我が国の状況を概観しても、必ずしも平穏で安定した社会であるわけではなく、日々めまぐるしく変化してきているといえます。例えば、

近年、持続可能な社会の構築に向けて世界市民や地球市民を謳う国際主義やグローバル化が叫ばれている一方で、トランプアメリカ大統領の米国第一主義に代表されるような内向きの閉鎖的なナショナリズムが台頭してきており、人々の価値観が変容しつつあります。また、高度情報化社会が一層進展する中で、多種多様な情報が氾濫している中からいかにより正しい情報を獲得していくかはきわめて難しく、また重要になってきています。その他にも、地球上の人口増加による食糧問題、エネルギー問題、経済格差の問題、環境問題などさまざまな問題が次々と発生してきています。国内においても、東北及び熊本の震災復興や福島原発など、依然道半ばです。

こうした状況の中で、これから大学生として、この大学および短大で学んでいくみなさんに、次のことを期待しています。

まず、作新学院大学および女子短期大学部の建学の精神は、「作新民」です。「作新民」とは、自ら主体的に考え、知識を行動につなげ、心豊かな人間として自己を日々変革していくことを意味します。みなさんは、この「作新民」をこれからの学びの指針として心にしっかりと留めながら大学生活を送っていただきたいと思います。

大学での学びは、高校までの既知の事実を知識として覚えるという学習とは異なり、むしろそれから開放され、これまで考えてもみななかったことを思考の対象として主体的に知を探求し、新たな知見や方法を創造し、知のネットワークを広げていくという、いわば「考え、問い、探究する」ことが中心の大航海型の志向学習を目指していきま

す。これからみなさんは、大学、短大においてさまざまな興味・関心のある専門的な知識や技術を学ぶこととなりますが、ぜひ主体性をもって「知のネットワーク」を広げ、さらに豊かな知恵に結びつけ、行動していただければと思います。

同時に、「作新民」という建学の精神を踏まえながら、大学時代にじっくりと自己理解を深めていってください。すなわち、限られた人生の中で、自分はどのような存在であり、何に向かって進んでいくべきなのかなど、大学という場は、ある意味、自分自身をじっくりとみつめることができる貴重な場所であるとも言えます。教員や友達とも大いに語り合いながら、他者理解と合わせて、ぜひ自己理解を深め、自分の可能性を広げていってもらいたいと思います。

大学及び短大では、また、実学を重視しております。みなさんの夢を叶えるために、さまざまな免許や資格を取得できるプログラムが数多く用意されています。

たとえば、経営学部では、企業と公共の経営を中核として、学内ダブルスクールとして、資格取得講座を開設し、公務員試験や簿記検定、さらに商業の教員免許取得などであり、経営学研究科は、税理士資格をはじめとする即戦力として地域に貢献していくためのプログラムが用意されています。また、スポーツビジネスの経営に将来携わる学生食のためのプログラムも充実しています。

人間文化学部では、教員養成関係として、小学校教諭一種免許状、

特別支援学校教諭一種免許状、中・高校の国語の教員一種免許状や司書教諭が取得でき、心理関係としては、学部から大学院へしながくして、県内有為逸である臨床心理士の試験資格が取得できます。

また、県内の保育者養成の中核である短期大学部幼児教育科では、幅広い教養と幼児教育についての専門的知識や技術の修得と保育所・幼稚園・児童福祉施設での実習を通して幼稚園二種免許状と保育士の免許状が両方取得できます。

みなさんの先輩達の多くは、こうした免許・資格に果敢に挑戦してきていますので、新入生のみなさんも、こうした免許・資格取得にも大いにチャレンジしていきましょう。

ところで、大学生活は、大学における教育研究や免許資格の学修だけではなく、学外における様々な活動にも積極的に挑戦していただきたいと思います。一つは、ボランティア活動やインターンシップといった社会活動です。昨年度も企業でのインターンシップや熊本の震災、あるいは駒沢公園で開催されたパラ駅伝などに学生が多く参加しています。もう一つは学生が自主的に取り組む課外活動です。課外活動は、大学教育の一環として位置づけ、クラブ・サークル活動を支援し、学生時代にしかできない貴重な体験を奨励しております。スポーツ系や文化系サークルは、全員で一つの目標に向かい突き進み、喜びや感動、悔しさなどを分かち合う、友人との絆を深める重要な活動です。ぜひ、新入生の皆さんも、こうした学外での活動や課外活動に積極的に参加していただきたいと思います。

本学は、自然環境にも恵まれ、明るく自由な雰囲気の中で教育と研究が行われ、学生も活発に活動しています。ぜひみなさんも、本学のこの自由の精神と実学の精神が溢れる雰囲気の中で、学問に勤しみ、実践知を蓄え、夢を膨らませ、サークル活動に取組み、未来を拓いていく人間として成長していくことを教職員一同心から大いに期待し、式辞と致します。

平成 29 年 4 月 5 日

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部

学長 渡邊 弘